



ミドリノメ



ナカノリエ

待つことが苦手だ。

待てない、何も待てない。

全てを手に入れたい。

そんな性格を見て、ある人はこう言った。

「お前は、最短距離で作って、最短距離でぶっ壊すなー」

厳密に言えばこうである。

「最短距離でぶっ壊れる」

それはそうでしょう、大急ぎで組み立てるのだから、いつもどこか抜けが出る。

でも、それが愛される強みになることもあった。

ぶっ壊したくなどない、ぶっ壊れても困る。

ただ、私は少し壊れているのだ。

壊れたまま大人になり、歳も歳でいい歳だから、だいぶ壊れているかも知れない。

それと同時に、積み重ねた日々もそれなりに続いてきた。

もう壊している場合じゃない。

壊したいとも思わない。

両手で掬うように、大切に大切に、

加減がわからなくて、神経が擦り切れたこともある。

人間は丈夫になっていく、鍛えられていく。

いつの間にか泣かなくなった。

それは少々繊細さに欠くような気もしなくもなくて、

寂しさが全くないと言ったら嘘になる。

けれど、嘘にならない程度に、これもまた愉しだ。

全ては手に入りません、一度には。

ただ、順番になら、手に入るかも？

いやどうだろう、キャパシティーってあるからね。

溢れてしまうこともあるのかも知れない。

まだそこは未知の世界だ。

みらいは明るい。

丈夫になっても、丈夫になっても、

試練の時は来る。

大丈夫、大丈夫、そんなに大丈夫でもなかったとしても。

遅くなるから、丈夫になるから。